

問1	徳島県における地鶏の出荷量を1994年から2008年までの期間で確認すると、1998年を境に出荷量が急増しています。また、同じ1998年には「神戸・淡路・鳴門自動車道」が開通しています。この道路の開通が地鶏の出荷増に大きく寄与したことを客観的に証明するために、出荷量のデータに加えて確認すべき指標として最も適切なものはどれですか。 （2018年 広島県公立入試 類似）			
	1. 道路の開通前後における地鶏の卸売価格の変動	2. 京阪神市場へ向かう地鶏の具体的な出荷経路の変化	3. 1994年以前の長期的な地鶏出荷量の変化	4. 徳島県内における地鶏の飼育農家数の推移
問2	鎌倉時代から江戸時代まで続いた、主君が家臣に土地の支配権を保障し、家臣が軍役を果たすという仕組みの目的として、最も適切な説明はどれですか。 （2023年 広島県公立入試 類似）			
	1. すべての土地を天皇が所有するものとし、家臣を地方官として派遣して全国を支配するため	2. 土地の売買を自由化することで、農民の納税意欲を高め、国家の財政を安定させるため	3. 商人の経済力を利用して武器や兵糧を調達し、外国の侵略を未然に防ぐ体制を作るため	4. 家臣に経済的な基盤を保障することで、忠誠心を引き出し、安定した軍事力を確保するため
問3	発展途上国などにおいて、自国の食料にするためではなく、外国へ売却して外貨を得ることを主目的として栽培される茶やコーヒーなどの作物を何といいますか。 （2020年 広島県公立入試 類似）			
	1. 自給用作物	2. 商品作物	3. 穀物類	4. 園芸作物
問4	2020年におけるG7（主要7か国）の統計資料において、人口が約3.3億人、国土面積が約983万平方キロメートル、国内総生産（GDP）が約20.8兆ドルという、いずれの項目でもG7の中で最大の値を示している国として正しいものを次から選びなさい。 （2024年 広島県公立入試 類似）			
	1. イギリス	2. カナダ	3. アメリカ合衆国	4. ドイツ
問5	明治時代後半、1883年に大阪で大規模な民間紡績会社が設立されるなど、日本の軽工業は急速な発展を遂げました。この時期、紡績工場において綿糸の大量生産を可能にし、日本の産業革命を支えた技術的・社会的な背景として最も適切なものはどれですか。 （2016年 広島県公立入試 類似）			
	1. 蒸気機関を動力とする大規模な機械を導入し、女性を中心とした安価な労働力による長時間労働が行われた。	2. 欧米から輸入した最新の工作機械を使い、農村の家内手工業を保護することで輸出を拡大させた。	3. 電力網を全国に整備し、熟練した男性労働者による手作業を中心とした高品質な製品の少量生産が行われた。	4. 政府が直接経営する官営模範工場を中心に、製鉄や造船などの重化学工業が先行して発展した。
問6	明治時代、北海道では開拓使が設置され、欧米の技術を取り入れた産業振興が行われました。その一環として開通した幌内鉄道が担った役割について、当時の社会状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 （2017年 広島県公立入試 類似）			
	1. 重工業の発展に欠かせない石炭などの資源輸送を担った	2. 開国に伴って設置された外国人居留地と港を繋ぐ役割を担った	3. 稲作の拡大を目指し、湿地の埋め立てに必要な資材を運んだ	4. 製糸業の原料となる繭を輸出港まで運ぶ役割を果たした
問7	アヘン戦争の結果を知った江戸幕府が、従来の対外政策を転換させた背景として最も適切な説明はどれですか。 （2026年 広島県公立入試 類似）			
	1. オーストリアの仲介によって、イギリスと清の間に講和条約が結ばれたことを平和外交の好機と捉えたため	2. イギリスが清に対して三国干渉を行い、日本の安全保障に直接的な脅威が及ぶことを警戒したため	3. 東アジアの強国であった清がイギリスの軍事力に敗れたことを知り、武力衝突を避ける必要性を感じたため	4. オランダが清を軍事的に支配したことで、長崎を通じた貿易の維持が困難になると予測したため
問8	兵庫県の伝統的工芸品である播州そろばんの生産現場では、かつては「枠」「ひご」「玉」などの製造工程を別々の職人が担う生産体制が一般的でした。しかし、近年は職人の高齢化や減少により、技術の継承が困難になっています。こうした課題を解決するために取り組まれている、若手職人による技術継承のあり方として最も適切なものを選択してください。 （2023年 広島県公立入試 類似）			
	1. 熟練職人の技術をデータ化し、国内での製造を廃止して海外の安価な労働力にすべて委託する。	2. 分業化された4つの工程を1つに統合し、特別な技術がなくても短期間で製造できる仕組みを作る。	3. すべての製造工程を機械化することで、職人の手作業を排除し、大量生産が可能な体制に移行する。	4. 一人の若手職人が複数の工程を習得することで、職人が減少しても製品全体を完成させられる体制を整える。
問9	日本国憲法第76条には、司法権の独立を保障するための規定があります。この条文の中で、すべての裁判官が職権を行うにあたって従うべきものと、拘束されるものとして示されている要素の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2020年 広島県公立入試 類似）			
	1. 内閣の指示に従い、憲法および法律にのみ拘束される	2. 自らの良心に従い、憲法および法律にのみ拘束される	3. 国民の世論に従い、法律と条令にのみ拘束される	4. 自らの良心に従い、憲法と時の政権の方針に拘束される
問10	1980年代半ば、為替レートは1ドル約250円から約150円へと急激に変化しました。この時期、電卓などの日本製品の輸出台数が大幅に減少しましたが、その理由として最も適切なものはどれですか。 （2023年 広島県公立入試 類似）			
	1. 円高が進み、海外での日本製品の販売価格が上昇したことで、価格競争力が低下したため。	2. 円高が進み、輸入する原材料の価格が安くなったことで、国内での製品供給が過剰になったため。	3. 円安が進み、海外での消費者の購買力が低下し、高価な日本製品が選ばれなくなったため。	4. 円安が進み、海外での日本製品の販売価格が下落したことで、メーカーが採算を改善できなかったため。
問11	グローバル化が進む消費生活において、衣類などの取り扱い表示に国際規格が採用された背景とその目的について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2019年 広島県公立入試 類似）			
	1. 特定の国の伝統的な表示方法を世界中に広めることで、その国の文化的な影響力を強めるため。	2. 製品の輸出入が盛んになる中で、どの国の消費者でも製品の扱い方を共通して理解できるようにし、利便性を高めるため。	3. 表示記号をあえて簡略化して意味を限定的にすることで、企業が負うべきPL法（製造物責任法）上の責任を免除するため。	4. インターネット通販の普及に対応し、文字情報を一切排除して記号だけで全ての機能説明を完結させるため。
問12	奈良時代の聖武天皇が進めた寺院建立の仕組みについて、都と地方の関係性を正しく説明しているものはどれですか。 （2021年 広島県公立入試 類似）			
	1. 各地の有力な豪族が私的に建てた寺院を、聖武天皇がすべて国分寺として公認する制度を整えた。	2. 都に建立された東大寺を総本山とし、全国の各地方に配置された国分寺・国分尼寺をネットワーク化した。	3. 地方の国ごとに守護を配置し、その守護が中心となって都の東大寺を上回る規模の寺院を各地に建てた。	4. 遣隋使や遣唐使として派遣された僧侶たちが、帰国後に自らの出身地に独自の国分寺を建立した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 京阪神市場へ向かう地鶏の具体的な出荷経路の変化	特定のインフラ整備の効果を証明するためには、単に同時期に生産量が増えたという相関関係を示すだけでは不十分です。実際にその道路を利用して消費地（この場合は京阪神市場）へ運ばれるようになったという「出荷経路」の裏付けをとることで、道路開通が直接的な要因であることを論理的に説明できます。
問2	答え 4 家臣に経済的な基盤を保障することで、忠誠心を引き出し、安定した軍勢力を確保するため	武士は「一所懸命」という言葉に象徴されるように、自らの土地を命がけで守る存在でした。将軍や大名は、その土地の支配を公認（安堵）するという強力な特権を与えることで、家臣たちを自身の軍事組織の中に組み込み、政権や領国の安定を図りました。これは律令国家の公地公民制とは対照的な、私的な契約に基づく社会構造です。
問3	答え 2 商品作物	発展途上国では、特定の農産物や鉱産資源を輸出することで経済を成り立たせている場合があります。自分の家族や国内で消費するための作物ではなく、市場で売ることを前提に大規模に栽培される作物を商品作物と呼びます。ケニアにおける茶は、国の経済を支える重要な商品作物の代表例です。
問4	答え 3 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、北アメリカ大陸に位置し、G7（主要7か国）の中で最大の人口、面積、そして世界最大の国内総生産（GDP）を誇る国家です。広大な国土面積と豊富な資源に加え、先進国の中では人口規模が非常に大きく、強力な経済基盤を持っています。選択肢にあるカナダは、面積はアメリカに近いものの、人口やGDPの規模はアメリカに比べて小さくなります。また、ロシアは面積が世界最大ですが、現在はG7のメンバーではありません。
問5	答え 1 蒸気機関を動力とする大規模な機械を導入し、女性を中心とした安価な労働力による長時間労働が行われた。	1883年の大阪紡績会社の設立は、民間資本による大規模な機械工業の成功例となりました。動力に蒸気機関を採用し、安価な女性労働力による12時間交代制などの長時間労働が大量生産を支えました。これが日本の産業革命の出発点となり、軽工業を中心に発展が進みました。
問6	答え 1 重工業の発展に欠かせない石炭などの資源輸送を担った	当時の日本は「富国強兵」を掲げて産業革命を推進しており、工場の稼働や蒸気船・機関車の燃料として石炭の需要が急増していました。北海道西部の幌内炭鉱は良質な石炭を産出したため、政府は開拓使による官営事業として鉄道を整備し、エネルギー資源の供給網を構築することで、日本の工業化を支える基盤を作りました。
問7	答え 3 東アジアの強国であった清がイギリスの軍事力に敗れたことを知り、武力衝突を避ける必要性を感じたため	江戸幕府はオランダから提出された海外情報に関する報告（別段風説書）によって、清がイギリスに敗北した事実を詳細に把握していました。それまで幕府は「異国船打払令」によって外国船を力づくで追い払う方針を採っていましたが、清の敗北を教訓に、同じようにイギリスなどの強国と戦争になれば日本も敗れる可能性があるかと危機感を抱きました。このため、人道的な観点から薪水（燃料や水）を給与する方針へと転換し、外交的な衝突を先送りしようとしていました。
問8	答え 4 一人の若手職人が複数の工程を習得することで、職人が減少しても製品全体を完成させられる体制を整える。	播州そろばんなどの伝統産業は、本来、高度な専門技術を要する「分業」によって支えられてきました。しかし、後継者不足が深刻化すると、特定の工程を担う職人がいなくなるだけで製品全体が作れなくなるリスクが生じます。そのため、現在の若手職人は複数の工程を習得する「多工程」の技術習熟を目指し、少ない人数でも伝統の技術を次世代へつなげようとしています。
問9	答え 2 自らの良心に従い、憲法および法律にのみ拘束される	司法権の独立を維持するため、裁判官は他者からの干渉を受けることなく、客観的な法規範である憲法と法律、そして自身の良心のみを判断の基準としなければなりません。これにより、政治的な圧力や一時的な社会情勢に左右されない公正な裁判が担保されています。
問10	答え 1 円高が進み、海外での日本製品の販売価格が上昇したことで、価格競争力が低下したため。	1ドルを交換するのに必要な円が少なくなること（250円→150円）は、ドルの価値が下がり、円の価値が相対的に高まる「円高」を意味します。円高になると、日本国内での価格が同じでも、海外市場（ドル建て）での販売価格を引き上げざるを得なくなります。その結果、海外の製品との価格競争に負けやすくなるため、輸出台数の減少という「輸出に不利」な状況を招くことになります。
問11	答え 2 製品の輸出入が盛んになる中で、どの国の消費者でも製品の扱い方を共通して理解できるようにし、利便性を高めるため。	国際規格への統一は、消費者が国をまたいで活動したり、海外の製品を購入したりすることが日常的になった現代において、情報の透明性と安全性を確保するために行われています。繊維製品の取り扱い表示を世界標準に合わせることは、消費者が購入した場所に関わらず、適切なメンテナンス方法を把握できるという大きなメリットをもたらします。これは、国際的な市場において消費者の権利を保護し、生活の質を維持するための仕組みの一環です。
問12	答え 2 都に建立された東大寺を総本山とし、全国の各地方に配置された国分寺・国分尼寺をネットワーク化した。	聖武天皇は中央集権的な国家体制を強化するため、宗教面でも都を頂点とする組織作りを行いました。都の東大寺を中心（総本山）とし、地方の各国に配置された国分寺・国分尼寺がそれに連なる仕組みを整えることで、仏教を通じた国家の統一と安定を図りました。これは、当時の律令国家としての地方統治の仕組みとも深く関わっています。